

2006年1月27日

国産材の積極活用を推進 「木づかい運動」において農林水産大臣より感謝状授与

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、平成18年1月26日、林野庁が実施する「木づかい運動」において、農林水産大臣より感謝状を贈呈されました。

「木づかい運動」は、平成17年2月の京都議定書の発効を受け、農林水産省、林野庁が地球温暖化対策として平成17年度から実施した国産材の積極利用を推進する普及啓発活動です。国産木材の積極利用を推進し、国内の森林整備の促進を図ることにより、日本が世界に約束した温室効果ガス排出量6%の削減の内、3分の2にあたる3.9%（日本の森林による1300万炭素トンのCO2吸収）を達成しようというものです。この一環として、国産材を大量に利用し、国産材利用の意義や良さについて積極的に紹介等を行った事業者を対象として「木づかい運動」顕彰が設けられました。今年度は建築業界や国産材実需者が対象とされるなか、当社の取り組みが認められ、感謝状を贈呈されるに至りました。

■当社の主な取り組み実績

- ・ 国産材の使用実績（平成15年国産材使用量）

内訳製材	10,178立方メートル（素材換算 15,978立方メートル）
集成材	33,704立方メートル（素材換算 56,173立方メートル）
その他	16,945立方メートル（素材換算 28,242立方メートル）
計	60,827立方メートル（素材換算100,393立方メートル）

（※素材換算は「森林・林業統計要覧2005」（林野庁編）の「木材製品の丸太換算率の推移」による）

- ・ 「30周年記念商品 MyForest」発売（H17.10.21）。「木を極める」をコンセプトとし、主要構造部材の国産材の使用比率の拡大を図る。（主要構造材における国産材の使用比率50%以上）
- ・ ホームページ、「環境・社会報告書」等パンフレットで「国産材の積極活用」について掲載。
- ・ 企業広告シリーズにて、間伐し、国産材を有効活用し、森を育てる企業姿勢を紹介。
- ・ 東京農工大学主催の環境公開セミナーにて、「当社が進める国産材の利用促進の取り組みについて」講演。
- ・ フォレスターハウス（森林を通じた環境問題等情報発信施設／新居浜市）の運営。
- ・ 「チーム・マイナス6%」ホームページへの活動報告。
- ・ 本社オフィス内の自動販売機をカートカン専用自動販売機へ入れ替え。

当社は、地球上で唯一再生可能な天然資源である「木」にこだわり、森林育成から住宅事業まで手掛ける総合住生活関連企業として、サステナブルな循環型社会の構築に貢献するため、今後も国産材の有効利用に向け尽力して参ります。



農林水産大臣感謝状



「表彰式後の記念撮影。写真は左から中川農林水産大臣、
弊社取締役社長矢野、審査委員長の安藤東京大学大学院教授」

<お問い合わせ先>

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 佐野、佐藤
東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)
TEL: 03-3214-2270

以上